



☆ AWC事務局便り 4月号 ☆

トライブラリープロジェクト②

2018年2月16日に日本おもちゃ図書館財団から贈られたおもちゃをチェンライ県ムアン郡ドイハーン地区のポーンナムローンチャイルドケアセンターとパースーチャイルドケアセンターに届けました。

ポーンナムローンチャイルドケアセンターは、チェンライでは有名な企業の茶畑が広がり、中華系の移民も多いので、他の村とは異なった独特の雰囲気を感じます。前回もおもちゃを届けたチャイルドケアセンターですが、前回の分だけではまだ不十分だったので今回も配布先として選びました。

実際に、つい最近ミャンマーから移住してきた新しい生徒も増えていました（アカ族の兄妹）。この地域に住んでいる親戚を頼ってミャンマーから移住したそうで、ミャンマー国籍も持っておらず家族全員が無国籍状態にあります。村で書類を作って、その地域に居住することはタイ政府から認められている状態ですが、タイ国籍取得は不可能なので今後の子どもたちの将来が不安です。他にも無国籍の子どもはいるそうです。国籍のある子の家も経済的にはかなり厳しい状況です。今年度までに入学した子には政府の助成で制服が無料で配布されたそうですが、次年度（5月から）入学する子どもは助成がないため、制服はなしになるだろうと先生が話していました。制服すら用意できない両親がおもちゃを買い与えることができるはずもなく、また市場で売られているようなおもちゃは質も悪く、おもちゃが子どもたちに新たな楽しみを与えてくれたと先生からも感謝の言葉を頂きました。訪問した日は、ちょうど旧正月の初日でした。ラフ族やリス族の村では儀式が行われており、生徒数は少なく、おもちゃのバスを受け取ると、そっと抱きしめながら嬉しそうに微笑んでいました。

パースーチャイルドケアセンターは、ポーンナムローンチャイルドケアセンターに比べると、街へ出やすい（とはいえ車で40分くらいはかかる）、近隣の茶畑だけでなく街まで仕事に通う保護者も多いようです。こちらも国籍を持たない子どもがいますが、最近移民してきたというわけではないので、貧しいながらも生活は落ち着いています。併設する学校の規模も大きく安定しています。こちらでも音の出る大きな車は大人気で、男の子達が一斉に手にしていました。女の子はカチューシャが嬉しかったらしく早速先生に付けてもらってはにかんでいました。同じく正月の影響で欠席が多かったので先生が人数分のカチューシャを確保し、残りのカチューシャは後日近隣の村で配布することになりました。おしゃれが好きなのは世界共通です。ちょうど正月で行き来が激しい時期なので喜ばれることでしょう。



あーすフェスタかながわ2018

5月19日(土)、20日(日)あーすプラザにて「あーすフェスタかながわ2018」が開催されます。

屋台、バザール、フォーラム、民族音楽、映画、体験型ワークショップなど世界各国の文化を通して多文化共生を考えるイベントです。AWCはタイの手工芸品などの販売を行います。皆さま是非お越しください。ボランティアも募集しています。

あーすフェスタかながわ2018

ーみんなで育てる多文化共生ー

日時：2018年5月19日(土)・20日(日)

10:00～17:00

会場：あーすプラザ

JR「本郷台」駅より徒歩2分